

防災だより

平成 26 年 11 月第 28 号
下田市地域防災課防災係
Tel.0558-36-4145

◆地震の時に負傷しないための工夫をしていますか？

地震の時、家の中の家具の転倒、棚からによる物の落下やガラスの破損により大半の人が死傷しています。

どんなに建物を丈夫にしても、怪我をしたり、避難口になるところをふさがれては何にもなりません。少しの時間と工夫で防ぐことが出来るのです。まずは、家の中の家具をしっかり固定したり、ガラスの飛散防止策をし、自分自身と家族を守りましょう。家具類の無い部屋を確保することも有効とされています。

◆家の中のチェックしてみましょう。

<家具類の固定>

※出典 (家庭内対策(自助)チェックリスト)

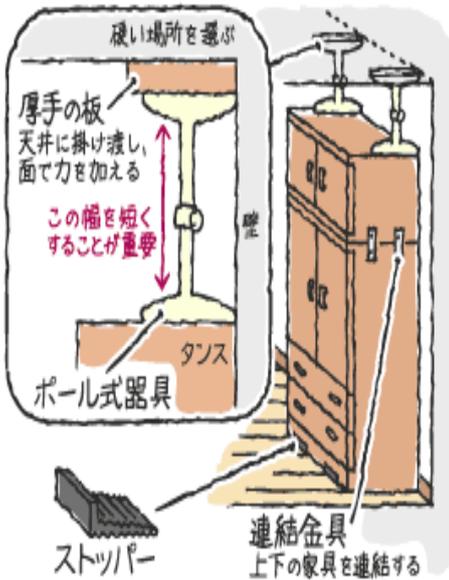
- 自宅にある家具・大型家電等(たんす、書棚、食器棚、鏡台、ピアノ、冷蔵庫など。以下「家具類」という)を壁などに固定しているか。
- 壁などに固定できない家具類の場合、天井との突っ張り棒を正しく施しているか。
- 固定や突っ張り棒ができない家具類の場合、床との間に転倒防止板を敷いてあるか。
- 居間や寝室に家具類を置かないようにしているか。
- 家具類は元々建物に固定されている、または、収納型になっているか。
- 家具類はできる限り低い高さのものを配置しているか。
- 家電(テレビ、電子レンジ、パソコンなど)の転倒、落下防止をしているか。
または、防振マットを敷いているか

<落下・飛散防止対策等>

- 窓ガラスや鏡の飛散防止対策をしているか
- 電灯(シャンデリア)や時計、神棚など、天井や部屋の高いところから物が落下しないようにしているか
- 食器棚から皿やガラスが飛び出してこないようにしているか
- 包丁やカセットコンロのガスボンベなどの管理はしっかりしているか



Point 1 家具は壁に固定
「家具は必ず倒れる!」



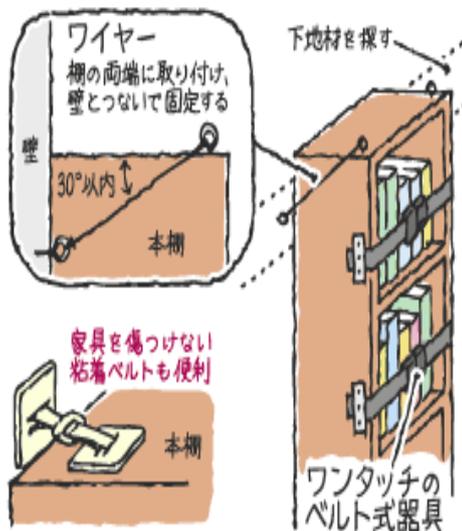
■タンスの固定
ポール式器具は家具の奥につける。また、左右の揺れで外れやすいので注意。上部だけでなく下部もストッパー等で固定。上下に分かれた家具は連結する。ポール式器具は天井や家具の硬い所に付ける。

Point 2 冷蔵庫やピアノが凶器に
「重い家電や家具も動く!」



■冷蔵庫の固定
重量物も、地震では簡単に動くため、必ず固定。キャスターにはストッパーを付ける。

Point 3 家庭に安全空間を
「寝室に家具を置かない!」

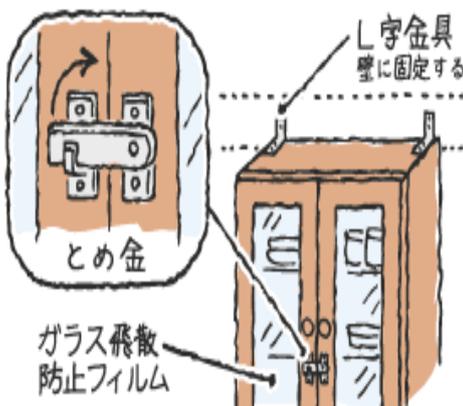


■本棚の固定
揺れても中の本が飛び出さないよう、本棚の端の硬い部分にヒモやベルトのようなものを取り付ける。



■寝室は安全空間に
睡眠時は地震への対応が鈍るため、寝室には家具を置かず「安全空間」にする。

Point 4 必ず通れる避難経路を確保する
「廊下に避難の妨げとなる物を置かない!」



■食器棚の固定
壁の中の硬い所、下地材のあるところを探し、金具、L字金具などで固定する。さらに観音扉が開かないようストッパーを付ける。



■避難経路の確保
被災時でも廊下や玄関が通れるように工夫し、非常持ち出し袋を準備しておく。